

(様式1)

施設指定管理者モニタリングチェックシート

施設名	豊明市大宮児童館
指定管理者名	セリオ・ALSOKビルサービス共同事業体
指定期間	平成28年 4月 1日 ~ 平成32年 3月 31日
所管課	児童福祉課

区分	項目	後半期(10~3月期)				
		指定管理者	指定管理者備考	市	市備考	
① 業務の 履行 確認	【施設全般の管理運営に関する業務】					
	条例施行規則に基づいた開館日・時間を遵守しているか	A		A		
	条例規則ほか各種規程を遵守のうえ、施設を供用しているか	A		A		
	人員体制が明確になっており、常に体制が整っているか	A		A		
	適切な有資格者を常に配置しているか	A		A		
	管理日誌等により、業務の記録をしているか	A		A		
	緊急事態発生時の対処マニュアルが整備されているか	A		A		
	【利用者に関する業務】					
	利用者数、稼働率等が著しく低下していないか	A		A		
	利用料金の設定、徴収、還付等手続は適切か	A				
	【保守点検並びに清掃業務等】					
	建物、機械等の点検・保守は定期的に行われているか	A		A		
	定期的に清掃、除草、剪定等は行われているか	B	剪定業者に依頼予定も、調整がつかず職員で対応した	B		
	異常、不具合等を発見した場合、速やかに市に報告しているか	A		A		
	利用者に対し、危険箇所の注意喚起を行っているか	A		A		
	破損箇所等が見つかった場合、適切に修繕等が行われているか	A		A		
	修繕等の履歴を適切に管理しているか	A		A		
	備品は適切に管理しているか	A		A		
	消耗品等は適切に補充しているか	A		A		
	【事業の実施に関する業務】					
	指定事業は適切に実施されたか	A		A		
	自主事業は適切に実施されたか					
	【個人情報の取り扱い】					
	個人情報等の管理は適切に行われているか	A		A		
	【①に係る指定管理者の自己評価】 概ね事業水準に沿った業務を実施することができた。前期では児童館の利用者数に若干数の減少が見られたが、大宮児童館独自のイベントを強化したことにより、幼児利用も増えつつある。また中高生向けの利用者を確保する為の取り組みとして、土曜日に卓球の利用をスタートさせたことで中学生や小学校高学年の利用者の増加につながっている。					
	【①に係る施設所管課の評価】 全員有資格者の体制となっており、安定した運営がされている。独自の運営や屋外スペースの改善整備により、後半期に幼児親子の利用が増加、昨年度を大きく上回っている。				区分評価	B

区分	項 目	後半期(10~3月期)			
		指 定 管理 者	指 定管理 者 備 考	市	市 備 考
【施設の運営状況に関する事項】					
	窓口対応は適切に行われているか	A		A	
	アンケートを実施するなど、利用者の意見を聞いているか	A		A	
	苦情や要望等に対して迅速にかつ適切に対応しているか	A		A	
	事故等が発生した場合、速やかに市に報告しているか	A		A	
	施設の清掃業務や衛生管理は適正か	A		A	
	貸出備品等は良好に保たれているか	A		A	
	実施された自主事業等は満足できる内容であったか				
【指定管理者が設定したサービス水準に関する事項】					
	外部への取組報告など定期的に更新しているか	S	フォトページを随時更新しているとともに、HPをリニューアルし、より見やすく整備を行った	S	
	子育て支援を意識した環境を整えているか	S	子育て支援情報の発信を随時行うとともに、子育て支援を意識したイベントの充実を行った	S	
	職員の質の向上に関する取組がなされているか	A		A	
	地域との交流を意識した取組がなされているか	A		A	
【②に係る指定管理者の自己評価】 概ね事業水準に沿った業務を実施することができた。サービスの質の向上ということで大宮児童館では利用者アンケートを元にニーズにあった取り組みを積極的に行っている。特にイベントの実施については、職員一人一人が担当をもって、学習要素を含んだイベントの実施を行ったり、幼児体操等の身体を動かすイベント、児童館の砂場を利用する利用者が増えてきているため、利用者数は確実に増えている。来年度には親子フラダンス等の企画も計画している。今後は小学生の利用者を増やすための施策も更に推進していくことで児童館全体としての活性化を図っていく。					
【①に係る施設所管課の評価】 前半期のアンケート結果から、来館者のニーズを読み取り、イベントの内容の充実や個々の対応の工夫などを行い、積極的なサービスの向上につなげている。					区 分 評 価
A					
③ サ ー ビ ス 提 供 の 安 定 性 の 確 認	事業収支は黒字になっているか	A		A	
	必要な帳簿は備えられているか	A		A	
	経理処理は適正に行われているか	A		A	
	収入増加のための取組がなされているか				
	管理経費縮減に関する取組がなされているか	A		A	
	団体の経営状況は健全で安定しているか	A		A	
	【③に係る指定管理者の自己評価】 事業運営に関して、健全で安定した運営をおこなうことができている。また、管理経費についても、施設のみだけでなく本部でも縮減に関する取組を周知・統括することで、無駄を省く取組を実施しています。				
【①に係る施設所管課の評価】 安定したサービス提供が実施できている。今後も健全な児童館運営の継続を期待する。					区 分 評 価
A					

【項目評価】

- S（優 良）： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準を上回っている。
- A（良 好）： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿っている。
- B（課題あり）： 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善）： 協定書、仕様書等が遵守されておらず、改善が必要である。

【区分評価】

- S（優 良）： 項目評価が全てA以上、かつSが過半数以上。
- A（良 好）： 項目評価が全てA以上。
- B（課題あり）： 項目評価にBがある。
- C（要改善）： 項目評価にCがある。